

横浜市栄区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会（第2回） 会議録	
日 時	平成27年3月23日（月）13時00分～14時20分
開催場所	栄区役所 新館1階 会議室(予防接種室)
出席委員 (敬称略)	芦川弘、磯崎保和、大森眞由美、田中富美子、峯尾武巳 (五十音順)
欠席委員 (敬称略)	なし
事務局	小山 福祉保健センター長、多田 福祉保健センター担当部長、 守屋 福祉保健課長、鳥山 福祉保健課運営企画係長、 宮崎 福祉保健課運営企画係職員
開催形態	公開（傍聴者2人） ただし、議事2（2）、3、5については非公開
議 事	<p><b>1 定足数の確認</b> 選定委員5名出席によって、委員会の成立を確認する。</p> <p><b>2 選定方法の確認</b> (1) 委員会の公開・非公開 「資料 横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の確認を行い、面接の様子は公開するが、選定に関する審議は非公開とすることを確認する。 (2) 選定委員会の進め方 ア 「資料 進行予定表」の確認を行い、審査はプレゼンテーション10分間、質疑応答5分間で行うことを確認する。 イ 「資料 評価項目及び評価基準、審査基準について」の確認を行い、審査の方法及び最低基準点が600点であることを確認する。</p> <p><b>3 財務状況の報告</b> 【参考資料】申請法人財務状況調査結果の確認を行い、申請法人の財務状況について確認する。また、申請法人の財務状況に関する採点を行う。</p> <p><b>4 申請法人によるプレゼンテーション及び質疑応答</b> (1) プレゼンテーションの実施 「社会福祉法人栄区社会福祉協議会」によるプレゼンテーションを行った。 (2) 質疑応答 (委員) 栄区は高齢化率が高いが、拠点を運営するにあたって、その点はどのように考えているのか。 (法人) 今後は、実際にどのようなことで困っているのかを区内の施設や団体にヒアリングを通して、実態を把握していく。また、活動を支える担い手をどのように確保していくかも大きな課題になると考えており、当法人のボランティアセンター機能やコーディネート力をいかして、</p>

新たな活動を担う方々を広げていきたい。

(委員) セーフコミュニティの今後の進め方について考えがあれば、教えてほしい。

(法人) 事務局として、地域福祉保健計画の進行、策定を通して、セーフコミュニティに貢献していきたいと考えている。また、セーフコミュニティの認知度を向上させるため、当法人の行うイベントや会議において、のぼり旗を設置や資料にセーフコミュニティのPRロゴを掲載するなどしている。

(委員) 福祉保健活動拠点の周知活動は今後どのように行うのか。

(法人) 5年程前に福祉保健活動拠点に親しみを持ってもらうため、拠点の愛称とロゴマークのデザインを募集するなど、親しみを持ってもらえるように工夫をした。また、拠点の活動を地域の方に更に知ってもらうために、年に1度「であい広場」というイベントを開催しており、このイベントについてもより多くの方に参加してもらえるようにしていきたいと考えている。

## 5 集計結果

申請施設	申請法人	審査結果 (満点 1,000 点)
福祉保健活動拠点	(福) 横浜市栄区社会福祉協議会	833 点

申請法人が最低基準の600点を超えているため、申請法人を第3期指定管理者の指定候補者とすることを決定し、以上の結果を栄区長に報告するものとする。

資料  
・  
特記事項

### 1 資料

- (1) 次第
- (2) 横浜市の保有する情報の公開に関する条例
- (3) 進行予定表
- (4) 評価項目及び評価基準、審査基準について
- (5) 参考資料 申請法人財務状況調査結果

### 2 特記事項

指定管理者に指定するための議案を9月に予定されている第3回市会定例会に上程する。